

手賀沼が海だったころ

松ヶ崎城跡の保全と歴楽講座等を定常活動へ

植樹を行った松ヶ崎城跡の保全と歴楽講座等を地道に進めよう。 会長 森 伸之

今年4月29日の総会で、会長に選出された森です。副会長であった昨年、当会は植樹にむけて取り組み、昨年は城まつりを企画、実施してきました。

既に皆さまご存知のように、松ヶ崎城跡の柏市による10年間の借り上げが決まっており、ある程度整備されて公開され、城跡へ行きますと、家族連れのような方々が見学をしている姿も拝見するようになりました。

昨年度の活動となりましたが、植樹では250名を超える応募を得て、樹木里親に市民の方々になって頂き、実際に植樹を行い、樹木は柏市に贈呈しました。植樹されたのは、北から東側の斜面を中心に里親制度により河津桜が50本、他に台地上にロータリークラブの植樹した広葉樹が70本余あります。

今後は、植樹された木々を守り育てていくとともに、植物の観察会などを通じて、城跡の環境保全などをおこなっていく予定です。

歴楽講座など地道な活動を

もともと当会は、松ヶ崎城跡の文化財としての保存のための諸活動を行ってきました。それは、実際に松ヶ崎城跡が柏市の指定文化財となり、柏市が松ヶ崎城跡の10年間の借り上げを決めたことが、その成果となっているといえるでしょう。

また、同時に松ヶ崎城跡を含めた地域の歴史や環境について調べ、研究して次代につなぐような活動も、従来も

行ってきましたし、今後も行っていく所存です。

柏を含めた東葛地方は、古くは北ノ作などの古墳、相馬郡衙の遺跡などあり、小金城のような大きな城だけでなく、手賀沼沿岸に多数存在する中世城郭など、数々の貴重な遺跡の残る場所です。江戸時代には幕府の牧があり、その跡地は明治新政府が始めた開墾で東京や近隣の農村から来た開拓民による苦闘が続けられた場所です。柏に豊四季と十余二という、開拓の歴史を刻んだ場所があるのが象徴的です。最近では、

柏陸軍飛行場跡地付近から秋水地下燃料庫などの戦争遺跡が発見されました。

当会としても、歴楽講座等の地道な活動を通じて、地域の歴史について理解を深め、遺跡は壊れたら元に戻らない、地域には守るべき宝があることを広く発信していけたらと思います。

地域の方とともに松ヶ崎城祭りや、自然と歴史に関する見学会などの行事を行い、郷土の歴史・自然環境を守り、次代に継承していきたいと思っています。



手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会 平成22年度の活動計画

分類	項目	実施時期	実施状況
保存	草刈・清掃	6月、11月頃	7/3 実施
講演会等	「保存運動からみた東葛の城と松ヶ崎城」講演会	4月29日	4/29 実施 -絵馬写真展示も
見学会	近隣の遺跡・文化財、松ヶ崎城跡見学会 自然観察会	歴史見学会 適宜 松ヶ崎城見学会 7月、11月	松ヶ崎城跡見学会 7/4 実施
イベント	城祭り	11月14日(日)	
勉強会	「歴楽講座」	5月から開講	5/30 から 実施中

また、地域の方の要請に応じ、松ヶ崎城のあらましを説明したり、説明資料や紹介DVDを制作する活動も行っています。

松ヶ崎城跡樹木里親制度の植樹経過報告



柏市指定文化財松ヶ崎城跡を花と緑のある史跡とし市民の憩いの場とするために、当会で樹木の里親を募集したところ、257名の方の応募がありました。

2月、まずロータリークラブによる植樹が、ボーイスカウトの協力のもとで行われ、桜やほかの樹木が植えられました。

樹木の里親制度による植樹については、2月28日植樹祭の準備をしましたが、あいにく天候が悪く中止。翌3月1日に造園業者の手によって河津桜を植樹。3月3日柏市役所で柏市への樹木の贈呈式が行われ、里親代表から秋山市長へ目録と桜の枝を渡しました。植えたばかりなのに4月には花をつけた桜もありおおよそ順調に生育しています。



7月4日里親の名前が載る看板の除幕式を行うことに

なりました。しかし城の上の会場は草が生え放題。前日草刈機を文化課にお借りし、会のメンバー数名で鎌をふるって整備をしました。当日は紅白幕を自治会から借り、ロープをつけ、里親のみなさん、柏市教育委員会文化課課長友野さん、ロータリークラブ幹事溜川さん、ボーイスカウト沢田さんなど、みなさんで幕を引きました。ぜひ「親御さん」の自覚をお持ちいただき、城跡の保存と緑の保全を見守って頂きたいと思えます。まだ見ていない方は城の台地北側に看板が立っていますので見学がてらご覧ください。



今後は里親制度の残金でシンボルツリーを選定してバス通り沿いの台地に植樹する予定です。山の上はあまり人の手で花を植え込んだりせず、古くから残る野草を大事にしつつ整備をすることが良いと考えています。桜ほか、さまざまの緑を楽しめる憩いの空間をみなさんと作り上げたいと思います。自然が好きな方、歴史が好きな方、里親の皆さん、ぜひご協力をお願いします。(柳沢)

「柏の葉里さくらまつり」シンポに参加

4月18日柏の葉キャンパス前千葉大学での「柏の葉里さくらまつり」シンポにパネ

ラーとして参加しました。桜をキーワードに地域の人のつながりを大事にし活性化しようというもの。

まず安藤敏夫千葉大教授による「そめいよしの」のルーツの科学的な解明のお話。駅前に花を植える「かしはなプロジェクト」千葉大で環境・健康を学んでいる「カレッジリンク」、清掃や福祉活動をしている「ピースメーカーズ」、NPOとなった「こんぶくろ池自然の森」といったパネラーと共に活動報告やディスカッションをおこないました。私たちは主に里親制度について報告。「楽しく気長に地道に」、各団体もいろいろ工夫しているようでした。(柳沢)



「足下の草花を知る会」を開催

増えてきた「チダケサシ」


8月の草刈りを前に、7月17日、松ヶ崎城跡にどんな草花が有るのか調査が行われました。当地の植生調査については6年くらい前に会で行なったことが有ります。その時は杉などが伐採される前で、季節も夏では有りませんでした。

今回は、残したい草花に印をつけておこうということで実施されました。会に植物の専門家が居ないことから、市の文化課の吉田さんに手配していただき、自然環境ウォッチャーの青木保雄さんを始め、同会の会員の皆様においでいただき調査、印をつ

けて回りました。

チダケサシの花は散っていましたが、百合は白い大きな花を付け、かぐわしい芳香を放っていました。弟切り草は黄金色の花を付け、萩も咲き始めていました。

種類はあまり変わっていないと思われませんが、大きな樹木が切られたことによって、日陰に多かったドクダミなどが減少し、チダケサシなどが増えてきました。まだ時間の経過がわずかで、見られなくなった植物も再び生えてくることも考えられますが、ギボウシなどは見当たりませんでした。

今年4月に植物のビデオ撮りをしましたが、松ヶ崎城跡には様々な植物があります。「十二単」「浦島草」「ちご百合」「ほうちやく草」「二人静か」「きんらん」など。 

草花同好の方を募集します。

城趾には今春「樹木の里親」「柏ロータリークラブ」によって樹木が植えられました。これらの木を育てるとともに、ここに有った草花を保存して行きたいと考えています。

そのためにどんな種類の草花が有るかを調べ、何を残して行くかを決めて行きたいと思います。城趾に出来るだけ多くの人達に来てもらって、歴史を知ってもらうとともに、草花を楽しんでもらえる場所にしたいと思えます。他の公園のように、花屋さんで売っているような花を植えるのではなく、この土地に有った植物を出来るだけ自然のままに思ってい

ます。

月に一回の草花調査と一緒に行なってくれる方、大募集です。(川上)

<大輪の花をつけたユリ>



追悼

久川さん ありがとうございますございました。

松ヶ崎城の緑が濃く、美しくなるようがんばります。

会の運営に全力で取り組んでくれた久川さんが7月15日亡くなられました。昨年末に癌が発見され、手術、抗癌剤と闘病されていたのですが、あまりにもあっけない別れでした。

会の中では、歴史よりも自然環境と樹木について深い関心を持って活動を進めてきた数少ない人でした。長く教職を勤めて来られたせい、知識にしても活動にしても中途半端な事が出来ず、植物について、また管理の実際について勉強するために一昨年、千葉大学に再入学、実習を含めた2年の課程を終えて今年3月に卒業する予定でした。

正月過ぎの再入院に当たって「最後のテストが受けられなくなりそうだ。もう一年勉強することになるかな」といいながら、闘志を燃やしていたのです。

頑固で、人付き合いは良いとは言いがたい所もありましたが、竹炭焼きや、さんま焼きなど、率先して様々な集まりを企画実施してくれました。風体に似合わず器用で、城趾に掲げられた「松ヶ崎城跡」の幕も、お城祭りに飾られた「祭り」の旗も久川さんの手作りです。

植栽関係の仲間づくりにも熱心で、高田近隣センターの「松ヶ崎自然塾」に講師として参加、松ヶ崎城の自然の保全に生かそうとしていました。

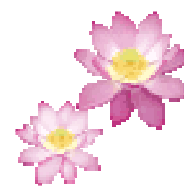
亡くなられて1週間後、吉田さんと久川さんの家に伺いました。ご自分の余命については、医師から宣告されており、以後のことについて全て自分で処理されていました。ご兄弟に伺った話では、葬儀の手配まで決めていたそうです。

生前から植栽に関する機材や、書物など、全てを当会や吉田さんに贈ると言っていました。家に有ったものはチェーンソーから草刈り機、多くの器具類と本。久川さんの意気込みが形と量になっていました。資金不足の会を運営する事務局長としての苦勞からでしょうか、多額の資金まで会に用意されました。

最後まで会のことを心配してくれた久川さんでした。本当に残念です。ただ慰められるのは、松ヶ崎城での活動と多くの人達との交遊が、久川さんにとって楽しく、充実していたと確信できることです。

安らかにと祈ります。

(川上)



歴楽講座の紹介



< 歴楽講座の実施状況 >

以前、当会は「地域史を語る会」という一種の勉強会をやっていました。それは、毎回会員の誰かがチューターとなり、殆どの時間を相互に討議するというもので、かなりレベルが高く参加者も固定されがちでした。その後、諸般の事情により、こうした会が出来なくなりましたが、定例の勉強会を復活すべきという声に押され、歴楽講座が生まれました。しかし、これは、テーマに応じていきなり会員が語り合うのではなく、会員が講義して、一通り聞き、質疑応答するものとなりました。

講師は5回目迄当会森が担当、6回目は白井市郷土史の会の方をお願いしました。

回	テーマ	日時	場所
1回	松ヶ崎城と手賀沼沿岸の城	5/30 13～15時	柏市民活動センター 2F会議室
2回	東葛地方の戦国史(国府台合戦他)	6/27 13～15時	アミュゼ柏 2F会議室B
3回	桶狭間合戦の実相	7/25 13～15時	アミュゼ柏 会議室D
4回	東葛地方の城と伝説(将門伝説など)	8/22 13～15時	アミュゼ柏 2F会議室B
5回 (予定)	柏周辺の戦争遺跡(柏飛行場、秋水関連、工兵学校等)	9/26 13～15時	アミュゼ柏 会議室C
6回 (予定)	白井市内の城跡とその周辺	10/24 13～15時	未定



知っている人は知っている？ こんな所にもあった将門伝説

平将門に関する伝説は全国にあるようですが、東葛および周辺地域でも将門伝説はいろいろ残っています。そのうち、知っている人は知っているけれど、一般には多少意外な場所にある将門ゆかり？の旧跡をあげてみました。他にも色々あり、それだけ将門は人気があった証拠？

印西市竹袋：道端にある将門の井戸



茨城県の岩井でなく柏市岩井の将門神社



我孫子市日秀：成田山と逆に首を傾げた地蔵



船橋市市場：卸売市場内の将門腰掛松



(森)